

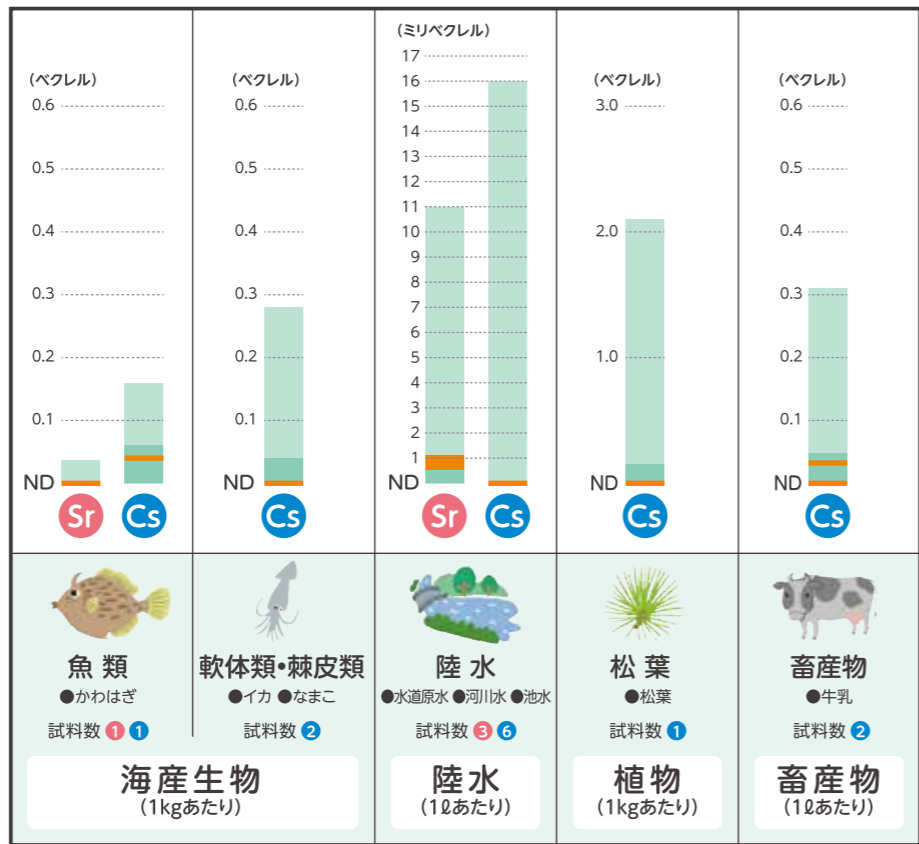
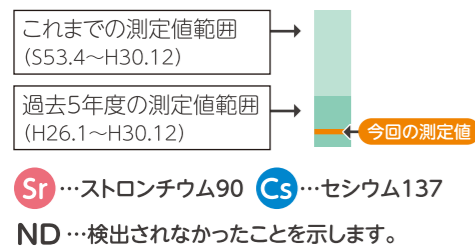
川内原子力発電所周辺の環境放射線・温排水影響 調査結果

鹿児島県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前から、周辺地域で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質や、空間放射線量、温排水の影響を調査しています。

環境試料の放射能分析 (平成31年1月～3月)

人工の放射性物質であり、環境における蓄積や被ばくの観点から重要なセシウム137、コバルト60、ストロンチウム90、ヨウ素131等について分析しています。今回は海洋試料9試料、陸上試料33試料、合計42試料を対象としています。

微量のセシウム137、ストロンチウム90が検出されていますが、これまでの調査結果と比較し、**異常は認められませんでした。**



温排水影響の調査 (平成30年度 冬季・主要魚類及び漁業実態)

温排水とは、発電所内で蒸気の冷却に使用した後に排出される海水のことです。この温排水が周辺海域に与える影響を把握するために、温排水影響調査を定期的の実施しています。

- 水温・塩分調査** 水温計を船でひきながら、水深別に水平分布を調査しました。また、海面から海底までの鉛直分布も調査しました。(平成31年2月18日)
 - 流況調査** 海中に流速計を設置し、潮流の向きや速さを調査しました。(平成31年2月18日～3月5日)
 - 主要魚類及び漁業実態調査** 周辺海域におけるイワシ類やマダイ・チダイの漁獲量を調査しました。(平成30年1月～12月)
- ※本調査は電源立地地域対策交付金にて実施しています。

水温・塩分・流況や周辺海域の主要魚類の漁獲量については、**過去の変動の範囲内でした。**



今回の調査結果については、県のホームページに掲載しています。

原子力だより鹿児島

検索



空間放射線量の測定 (平成31年1月～3月)

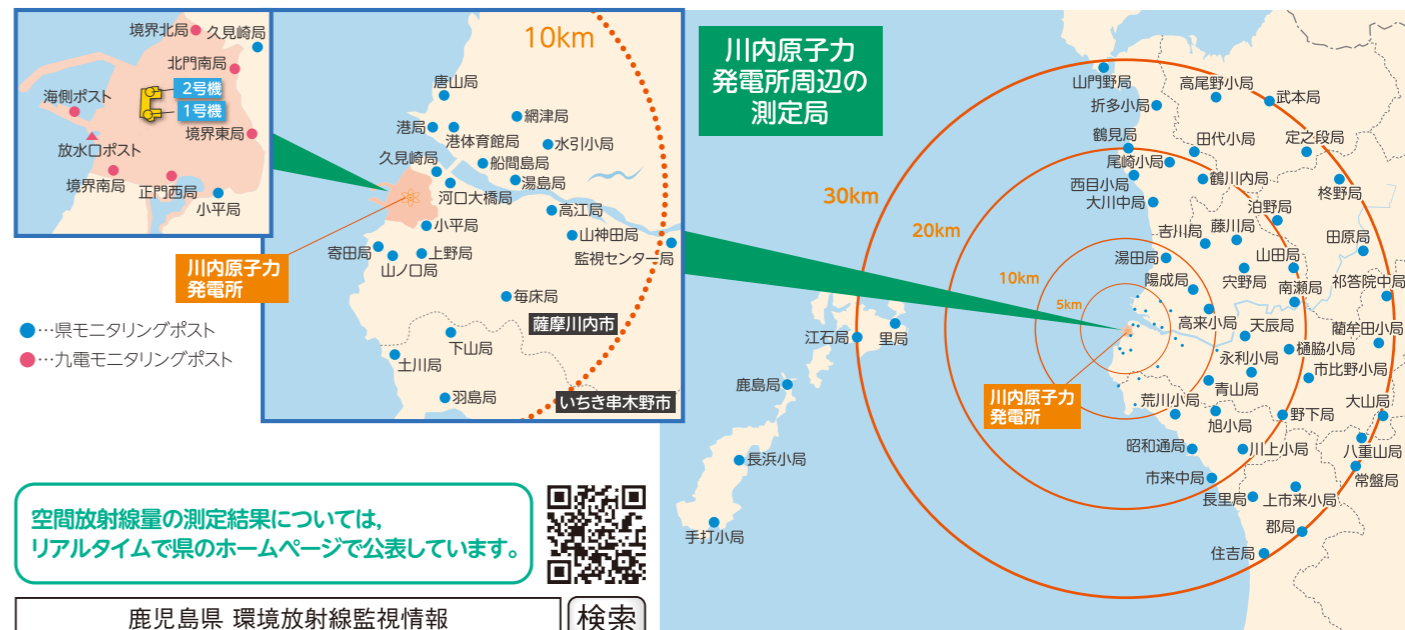
モニタリングポスト(73局)の空間放射線量と、発電所の放水口ポスト(1局)における海水中の放射線量を、テレメータシステムを用いて常時監視しています。また、川内原発周辺の49地点において、3か月間の積算線量の測定を行っています。

今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、**異常は認められませんでした。**



3か月間(91日換算) 積算線量		単位:ミリグレイ	0.10	0.20	
49地点		[Bar chart showing 49 points within 0.10-0.20 mSv range]			
線量率 (テレメータによる連続測定)	北門南局	単位:ナノグレイ/時	20	50	
	正門西局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	小平局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	境界北局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	境界東局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	境界南局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	港局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	久見崎局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	上野局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	寄田局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	高江局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
	監視センター局	[Bar chart showing 30-40 nGy/h]			
計数率 (連続測定)	単位:シーピーエム(CPM)*	450	500	550	600
放水口ポスト		[Bar chart showing 450-550 CPM]			

*CPM(カウントパーミニッツ):1分間に測定器を通過した放射線の数を表す数値。



空間放射線量の測定結果については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。



鹿児島県 環境放射線監視情報

検索